

令和4年(2022年) 1月26日(水) 13809号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は3万円引き下げの117万円

1月の月内建値平均は117万6,300円

JX金属は25日、電気銅建値を3万円引き下げの117万円にすると発表、同日より実施した。1月の月内建値平均は117万6,300円。

25日に入電した直近のLME銅相場前場売値が9,800.00ドル。25日の東京市場の米ドルTTSレートは115.01円。この値で換算した採算価格は、112万7,000円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万3,000円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2021年

8月 …1110(2) 1090(4) 1080(10) 1090(13) 1060(18) 1030(20)
 1060(24) 1070(27) 平均1074.7

9月 …1100(1) 1080(3) 1070(9) 1110(16) 1080(15) 1030(21)
 1080(27) 平均1078.9

10月…1040(1) 1070(5) 1100(11) 1120(13) 1200(15) 1340(19)
 1250(20) 1190(22) 平均1153.1

11月…1170(1) 1150(5) 1170(9) 1150(11) 1170(15) 1150(17)
 1180(24) 平均1165.2

12月…1130(1) 1120(6) 1140(9) 1120(14) 1140(22) 平均1128.3

2022年

1月 …1180(4) 1160(7) 1200(13) 1170(17) 1200(21) 1170(25)
 平均1176.3



黄銅削粉買値は18円 引き下げの852円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は25日、黄銅削粉買値を18円引き下げの852円と発表した。今月6回目の改定。

2021年 金属鉱物資源をめぐる動向

【上】

JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)はこのほど、「2021年 金属鉱物資源をめぐる動向」を公表した。金属企画部調査課の報告で、抜粋・要約は以下の通り。

* * *

◆はじめに

2021年の非鉄金属市況は前年後半からの高価格水準を維持する形で軒並み堅調に推移した。ベースメタルは、資源国における鉱山や港湾でのストライキをはじめ、新たな鉱業税制改革に係る審議や「資源ナショナリズム」的な動きのほか、環境保全策を背景とした中国における電力不足が需給タイト感を刺激して各鉱種の価格を下支えたことがその主たる要素。これらは2021年における金属鉱物資源を巡る動向を象徴するト

ピックスの一つであったと言える。

他方、中国経済は、実質GDPの伸び率は2021年以降減速傾向が著しく、不動産投資に対する信用リスクの低下や電力不足など供給制約を背景として、経済成長の勢いに陰りが見られた年でもあった。

ただ、同国企業による投資や政府による業界再編等が具体化している状況から、そのプレゼンスが2021年の金属鉱物資源需給の動向においても主役を担ったといっても過言ではない。

◆“ウィズコロナ”の鉱山・製錬所操業、コロナによる混乱からの回復

各鉱種の需給バランスについて、銅及び亜鉛は、コロナによる混乱により2020年は需給ギャップの度合いが大きかったものの、2021年はほぼバランスした。ニッケルは、後述のとおり電気自動車(EV)向け需要が高まるなか、供給懸念材料が需給タイト感を刺激し、2020年の供給過剰から一転して2021年は供給不足に転じた。

(2面に続く)

◆ベースメタル市況動向：経済活動の回復で堅調に推移、銅は史上最高値更新

ベースメタル価格は、コロナと経済活動の両立によって概ね高値圏で推移した。1~2月にかけては中国の需要が堅調で、米Biden政権が景気刺激策を発表したことが価格を下支え。3月には、欧州でコロナが再拡大したことやワクチン普及が停滞したことにより価格は低迷したが、5月上旬に銅主要生産国チリで新鉱業ロイヤリティ法案が下院本会議にて可決され、同国港湾労働者による年金問題を巡るストライキにより供給懸念が生じた。また、米Goldman Sachs社が銅を「新しい石油」と称するなど、再び「脱炭素化」に向けた需要に対する期待感が世界的に高まったことを受け、銅価格は5月10日に史上最高値を更新し10,724.5US\$/tを記録した。

6月には、米連邦公開市場委員会が2023年までに政策金利の利上げを行う見通しであることを公表し、ドル高進行を背景にベースメタルの上昇基調は一服。7月以降、銅価格は、ペルーの急進左派政権誕生のほか南米地域でストライキなどが相次いだこと、あるいはベースメタル全体でLME在庫の減少が進行したことが価格を下支えした。

また、中国の電力不足と世界的な電力価格の高騰も、下半期のベースメタル市況動向に影響を与えた。特に亜鉛の生産状況に影響が及び、中国雲南省では5月から干ばつによる電力制限が続いていたため、一部の亜鉛製錬所で生産制限が行われた。9月にはオランダの製錬所が減産を公表したほか、10月にはベルギーNyrstar社が電力高騰から生産量を最大50%削減することを公表したことで、当年最高値の3,815.0US\$/tを

記録した。

中国の電力不足は銅価格にも影響を与え、同国の銅生産が抑制される懸念が強まったほか、脱炭素化に向けた需要による投機筋の動きも重なり、銅の現物需給がタイト化したことで現物価格が先物価格を上回る「バックワーデーション傾向」が生じ、10月には一時史上最高値に迫る10,652.0US\$/tまで上昇した。

鉛は、世界的な異常気象による高温や水害などを背景に自動車バッテリーの交換需要が増加したことや、7月に欧州で発生した洪水によりドイツの製錬所が操業を停止して不可抗力宣言したことで、現物の需給タイト化が加速。鉛でもバックワーデーション傾向が7~8月にかけて継続し、8月には約3年ぶりの高値圏での推移となった。

◆貴金属市況動向：金は高値で推移、プラチナも数年来の高値、パラジウムが史上最高値更新

金は、コロナ変異株の流行に対する懸念、米国の利上げ開始時期を巡る推測、資源燃料価格高騰など、価格を下支えする要素に事欠かず、1年を通じ1,700~1,900US\$/ozの比較的高値圏で推移した。プラチナは、南アでの精錬プロセス事故による減産や触媒需要としてのパラジウムからの代替のほか、燃料電池車向け需要増への期待感等から前半は上昇し、2月には約6年ぶりに1,300US\$/ozに迫る高値をつけた。後半は、自動車メーカーが半導体不足による減産を発表し触媒需要が減少、一転して概ね下落基調となった。パラジウムは、2月、露の鉱山で発生した地下水流入事故により供給懸念が生じ上昇、欧州や中国等での排ガス規制強化による需要増加の予測も相まって、5月に2,993.5US\$/ozをつけ史上最高値を更新した。

2021年 重大ニュース

トップは生産回復

日本伸銅協会

一般社団法人日本伸銅協会（石田徳和会長）はこのほど、2021年の「重大ニュース」を発表した。生産水準の回復や銅建値の急騰などが挙げられており、5位以上の内容と6位以下の項目を紹介する。

①伸銅品生産量の回復が続く

1~11月の伸銅品生産量は、71.3万トンであり、前年同期比で+21.8%、2019年同期比で+2.9%と、コロナ前の水準以上の回復を示している。暦年の生産量は、77万トンを超える見通しである。2020年秋の自動車から始まった各需要分野の回復は、総じて好調に推移しており、主力製品のうち銅条・黄銅条では、デジタル家電と車載向け半導体、端子・コネクタを中心に好調が続いており、黄銅棒では水栓金具やガス機器、設備機器需要も回復基調が続いている。

②銅建値が過去最高値を更新、亜鉛や錫なども急騰

銅の国際相場は急騰し、国内銅建値は4月に過去最高値（2007年の105万円/トン）を更新し、10月には

134万円/トンまで上昇した。また銅合金に使用する亜鉛や錫の国内価格も急騰し、いずれも高水準となった。他材質への代替の動きに関しては注意が必要である。

③RCEPの2022年1月の発効が決定

東アジア地域包括的経済連携RCEPは、2022年1月から日本、ブルネイ、カンボジア、ラオス、シンガポール、タイ、ベトナム、豪州、中国、ニュージーランドの10カ国で発効することとなり、2022年2月からは韓国も加わる。中国と韓国とは初めての自由貿易協定であり、伸銅品の輸出入への影響を注視する必要がある。

④適正取引の推進に向けた自主行動計画を策定

経済産業省の「金属産業取引適正化ガイドライン」に対応し、日本伸銅協会では「適正取引の推進に向けた自主行動計画」を5月に策定した。また8月に同ガイドラインが改訂されたことに伴い、同自主行動計画を9月に改訂した。会員企業における適正取引の推進を、今後も支援していく。

⑤伸銅品技術講習会を2年ぶりに開催（初のWeb開催）

日本伸銅品問屋組合連合会と共催で例年実施している伸銅品技術講習会は、昨年コロナ禍により中止となったが、2年ぶりに開催された。コロナ前は、東京・大阪・名古屋の3会場での各1日開催であったが、

今回は初のWeb開催のため、10月26日と11月2日の2回開催した。総勢400名以上の参加申込みがあり、両日とも盛況であった。

⑥日本銅学会の論文集がJ-STAGEで無料公開

⑦ヘテロナノ超高強度銅合金材の開発（NEDOテーマ）を3年で完了

⑧「銅及び銅合金の新型コロナウイルス不活化効果」確認される

⑨コロナ禍で新たな様式による定時総会をはじめ各種イベントを再開

⑩組織の見直しを含めた新たな体制で会員サービスの向上へ

アルミ業界 2021年 重大ニュース トップは資源循環国家プロジェクト化 日本アルミニウム協会

一般社団法人日本アルミニウム協会（木村良彦会長）はこのほど、2021年の「アルミ業界重大ニュース」を発表した。資源循環の国家プロジェクト化やコロナ禍からの需要回復などが挙げられており、上位5位の内容と6位以下の項目を紹介する。

①資源循環プロジェクトが先導研究から国家プロジェクトに昇格

「アルミニウム素材高度資源循環システム構築事業」は2年間先導研究を行ってきたが、9月から助成事業による国家プロジェクトに昇格し、実用化に向けた研究開発を続けることになった。

初年度の助成金は3億円。「不純物元素低減技術の開発」と「微量不純物を無害化する高度加工技術等の開発」の2つの課題に取り組む。

②国内アルミ業界の再編相次ぐ

米アパロ・グローバル・マネジメントが、昭和電工株式会社からアルミ板事業とアルミ缶事業を、また三菱マテリアル株式会社からアルミ板・押出事業とアルミ缶事業を買収すると発表した。

③SDGsを背景にアルミの特性を見直す動きに伴い、他素材からアルミ容器への変更の動き

無印良品を展開する良品企画は飲料容器のパッケージをペットボトルからアルミボトル缶に、またP&Gは、ヘアケア「パンテーン」新商品（シャンプーとリンス）の容器をプラスチックボトルからアルミボトルに変更。ダイドードリンコは、一部法人顧客のオフィスに設置する自動販売機のお茶や水など6種類の飲料容器をペットボトルからアルミボトル缶に変更するなど、アルミの特性を見直す動きに伴い、アルミ容器への変更の動きが相次いだ。

④リチウムイオン電池向けのアルミ箔需要の好調継続、驚異的な伸び

同アルミ箔需要は好調を継続し、1-10月期の出荷量は33,195トと、暦年（1-12月期）で過去最高を記録した昨年の25,994トを上回る驚異的な伸び。箔全体の3割を占めるまでに成長した。

⑤中国からのアルミ板輸入、過去最高へ

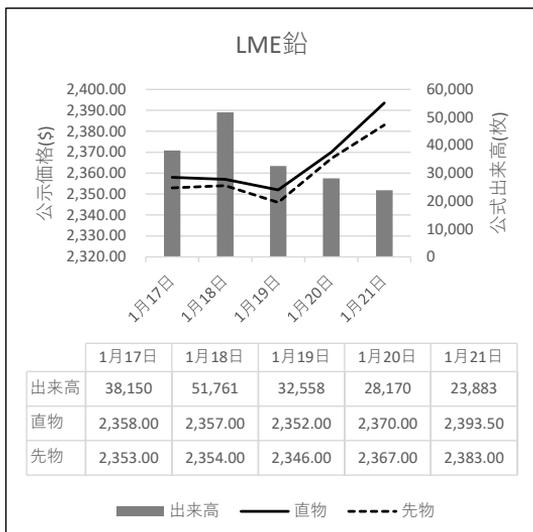
1-10月期の中国からのアルミ板輸入量が58,221トとなり、暦年（1-12月期）で過去最高を記録した2019年の63,376トを上回る勢い。

⑥ツイッターを活用した広報活動を展開

⑦アルミ副原料の価格高騰、マグネシウムは一時15,000ドル/トに

⑧中国のアルミ生産量、過去最高を記録

LME公式値週間推移 1月17日~1月21日(現地)



日刊金属 6 ヵ月 : 46,200 円

外電配信料 12 ヵ月 : 92,400 円

(税込)



故銅市況

25日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場場で、直物の前場売値が、前営業

日の9,970.00ドルより170.00ドル安の9,800.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,984.00ドルより221.00ドル安の9,763.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,922.00ドルより147.00ドル安の9,775.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,941.00ドルより213.00ドル安の9,728.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場の3月限は、前営業日の452.40セントより11.15セント安の441.25セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場3月限は、前営業日の7万1,290元より160元安の7万1,130元。

25日の東京為替市場TTSレートは、前日の114.86円より0.15円の円安ドル高、1ドル=115.01円。25日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,800.00ドル。この値と25日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日118万3,000円より1万8,000円安の116万5,000円。

この日、電気銅建値は117万円に引き下げられた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

(1月25日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が902~907、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは867~872、並銅は832~842、込銅(高品位=約97%)は822、セパは677~682。コーベルは要り用筋で618、それ以外は603ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋628、それ以外598~608どころの値頃。並青銅鋳物削粉は728~733どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が882~902、上銅新くずが847~867、普通上銅が822~842、2号銅線が814~834、並銅が812~832、込銅(94-97%)が760、込銅(90-93%)が762、下銅が436~486、セパが642~677、コーベルが558~603、黄銅棒地が553~598、黄銅削粉が548~593、黄銅ラジが513~521、交叉ラジが474~531、黄銅鋳物が475~482、送りが267~286、上青銅鋳物が725~745、並青銅鋳物が705~720、上青銅鋳物削粉が720~740、並青銅鋳物削粉が695~715どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区(1月後半)

2S=240円~255円、63S=224円~250円、アルミホイール(1P)=136円~245円、ビス付サッシ=142円~146円、エンジンコロ=155円~158円、込合金(機械鋳物)=153円~156円、缶プレス(ソフト)=126円~131円。

関西地区(1月後半)

2S=202円~205円、63S=205円~208円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=176円~186円、ベースメタル=179円~183円、機械鋳物=126円~129円、ドライ粉=105円~108円、ビス付サッシ=113円~118円、缶プレス=113円~115円。

為替動向

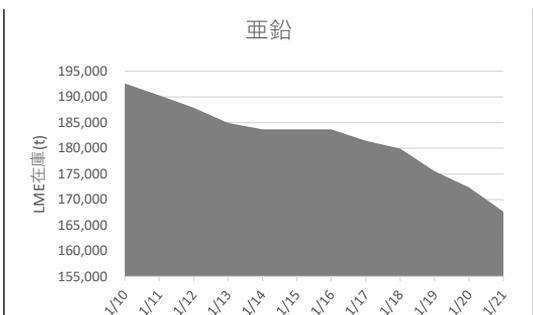
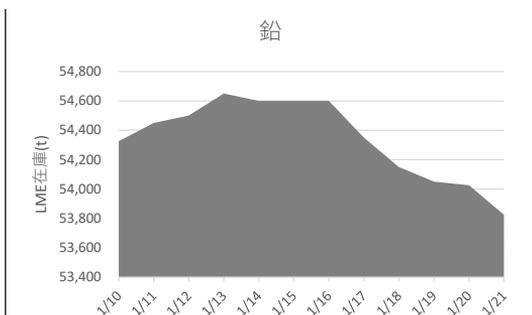
24日、ロンドン外国為替の英ポンドは対ドルで下落。16時、前営業日と比べ0.0090ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.3460ドル~1.3470ドルだった。米英両国も在ウクライナ大使館に勤務する一部職員と家族に退避が命じられるなど、ロシアのウクライナ侵攻に警戒感が高まるなか、投資家はリスク回避姿勢を強めておりドル買いが優勢となった。英国では景況感改善が鈍化するなか、インフレ高進で英中銀の利上げ継続が見込まれており、悪影響を懸念してポンドが売られた側面もある。ユーロも対ドルで下落。同じく0.0040ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.1300ドル~1.1310ドルだった。

24日のニューヨーク外国為替市場で円相場は4営業日ぶりに反落。前週末と比べ0.30円の円安ドル高、1ドル=113.95円~114.05円だった。ウクライナ情勢の緊迫化を巡り米国の株式相場が上昇に転じ、国債が売られるなど長期金利も上昇、欧州通貨が対ドルで売られたこともあって結果としてドル買いが促された。

25日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落して始まった。8時30分、前日17時と比べ0.30円の円安ドル高、1ドル=114.05円~114.06円だった。24日、米国の長期金利が上昇、金利差拡大を意識した円売りドル買いが先行した。

円は対ユーロでも下落。同じく0.34円の円安ユーロ高、1ユーロ=129.13円~129.15円だった。

LME認定倉庫在庫量推移 1月10日~1月21日(現地)





LME銅相場は5営業日ぶり反落 金利引き上げ見据え利益確定の売りで急落
 COMEX銅相場は続落 SHFE銅相場は反落
 LME非鉄相場は総じて軟調 ニッケルも5営業日ぶり反落



25日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月25日入電の9,970.00ドルより170.00ドル安の9,800.00ドル。5営業日ぶりの反落で1.71%安。この週1.71%の下落。1月に入って1.11%の上伸。3か月物の前場売値は、1月25日入電の9,922.00ドルより147.00ドル安の9,775.00ドル。5営業日ぶりの反落で1.48%安。この週1.48%の下落。1月に入って0.96%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地1月24日の9万9,775トンより2,200トン減の9万7,575トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月25日入電の451.25セントより10.95セント安の440.30セント。2営業日の続落で3.79%安。この週2.43%の下落。1月に入って1.17%の下落。2月限は、1月25日入電の451.80セントより11.10セント安の440.70セント。2営業日の続落で3.75%安。この週2.46%の下落。1月に入って1.19%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、2月限が、1月25日入電の7万1,150元より240元安の7万0,910元。3営業日ぶりの反落で0.34%安。この週0.34%の下落。1月に入って1.39%の上伸。中心限月に当たる3月限は、1月25日入電の7万1,290元より160元安の7万1,130元。3営業日ぶりの反落で0.22%安。この週0.22%の下落。1月に入って1.44%の上伸。

錫は続落

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月25日入電の4万3,900.00ドルより525.00ドル安の4万3,375.00ドル。2営業日の続落で1.86%安。この週1.20%の下落。1月に入って9.44%の上伸。3か月物の前場売値は、1月25日入電の4万3,500.00ドルより695.00ドル安の4万2,805.00ドル。2営業日の続落で1.82%安。この週1.60%の下落。1月に入って9.48%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地1月24日の2,200トンより25トン減の2,175トン。

鉛は反落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月25日入電の2,393.50ドルより215.00ドル安の2,372.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.90%安。この週0.90%の下落。1月に入って1.87%の上伸。3か月物の前場売値は、1月25日入電の2,383.00ドルより23.00ドル安の2,360.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.97%安。この週0.97%の下落。1月に入って3.10%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地1月24日の5万3,825トンより125トン減の5万3,700トン。

亜鉛は下落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月25日入電の3,686.00ドルより44.00ドル安の3,642.00ドル。5営業日ぶりの反落で1.19%安。この週1.19%の下落。1月に入って0.33%の上伸。3か月物の前場売値は、1月25日入電の3,642.00ドルより45.00ドル安の3,597.00ドル。2営業日の続落で1.32%安。この週1.24%の下落。1月に入って1.64%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地1月24日の16万7,650トンより5,150トン減の16万2,500トン。

アルミは続落 アルミ合金は続伸 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月25日入電の3,079.50ドルより35.00ドル安の3,044.50ドル。2営業日の続落で2.09%安。この週1.14%の下落。1月に入って8.50%の上伸。3か月物の前場売値は、1月25日入電の3,061.00ドルより30.00ドル安の3,031.00ドル。2営業日の続落で1.65%安。この週0.98%の下落。1月に入って7.86%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地1月24日の86万5,950トンより万6,150トン減の85万9,800トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月25日入電の2,350.00ドルより110.00ドル高の2,460.00ドル。2営業日の続伸で6.49%高。この週4.68%の上伸。1月に入って14.42%の上伸。3か月物の前場売値は、1月25日入電の2,350.00ドルより110.00ドル高の2,460.00ドル。2営業日の続伸で6.49%高。この週4.68%の上伸。1月に入って14.31%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月25日入電より横ばいの2,865.00ドル。この週横ばい。1月に入って12.35%の上伸。3か月物の前場売値は、1月25日入電より横ばいの2,851.00ドル。この週横ばい。1月に入って12.24%の上伸。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月25日入電の2万4,000.00ドルより500.00ドル安の2万3,500.00ドル。5営業日ぶりの反落で2.08%安。この週2.08%の下落。1月に入って12.31%の上伸。3か月物の前場売値は、1月25日入電の2万3,720.00ドルより670.00ドル安の2万3,050.00ドル。5営業日ぶりの反落で2.82%安。この週2.82%の下落。1月に入って11.08%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地1月24日の9万3,480トンより378トン減の9万3,102トン。

LME公示価格(US\$)／1月24日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,800.00	43,375.00	2,372.00	3,642.00	3,044.50	2,460.00	2,865.00	23,500.00
	前営業日比	▲ 170.00	▲ 525.00	▲ 21.50	▲ 44.00	▲ 35.00	110.00	0.00	▲ 500.00
先物	公示価格	9,775.00	42,805.00	2,360.00	3,597.00	3,031.00	2,460.00	2,851.00	23,050.00
	前営業日比	▲ 147.00	▲ 695.00	▲ 23.00	▲ 45.00	▲ 30.00	110.00	0.00	▲ 670.00

海外非鉄金属相場

(1月25日 入電・現地 1月24日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

Table for NY Comex market with columns for metal types (銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム) and rows for 1, 2, 3, 4, 5 month limits and daily price changes.

Table for LME (円ベース/キロ) and COMEX with columns for metal types (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル) and rows for current prices and daily changes.

Table for Free Market (フリー・マーケット) and US Producer Prices (米国生産者価格) with columns for metal types and prices.

Table for NY Market (NY相場) with columns for metal types and prices.

Table for London Market (ロンドン相場) with columns for metal types and prices.

Table for KLT M (MYR/KG, 出来高トン) with columns for metal types and prices for 24th and 25th days.

Table for LME Inventory (LME在庫) with columns for metal types and inventory changes.

Table for Shanghai Inventory (上海在庫) with columns for metal types and inventory changes.

Table for LME Pre-market (LMEプレマーケット) with columns for metal types and prices.

Table for Shanghai Market (上海相場) with columns for metal types and prices.

Table for LME (円ベース/キロ) and COMEX with columns for metal types and prices.

非鉄金属製品相場

(1月25日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◆ 1440	◆ 1375	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	◆ 1490	◆ 1425	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	◆ 1570	◆ 1575	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	◆ 1530	◆ 1555	鉛板1.5ミリ	560	560	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 1440	◆ 1480	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	◆ 1370	◆ 1375	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◆ 1410	◆ 1405	アルミ箔0.007ミリ	1075	1035	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	◆ 1460	◆ 1445	〃 小板1ミリ	710	665	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	◆ 1390	◆ 1385	〃 大板1ミリ	690	655	14sq 203~216
銅平角線	◆ 1660	◆ 1615	〃 5052板	745	705	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	◆ 1195	◆ 1160	〃 5083板	760	720	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	◆ 1225	◆ 1190	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	◆ 1345	◆ 1340	〃 線3ミリ	725	655	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	◆ 1690	◆ 1620	〃 快削棒50ミリ	910	870	6kV 3C×38 ◎2522~◎2676
復水器用黄銅管	◆ 1660	◆ 1600	〃 合金棒50ミリ(17S)	895	850	6kV 3C×60 ◎3507~◎3721
黄銅棒快削25ミリ	◆ 1010	◆ 1015	〃 合金棒50ミリ(56S)	850	810	CVV (関西-関東)
六角棒	◆ 1040	◆ 1045	貴金属(一般小口向け)			3C×2 123-126
四角棒	◆ 1070	◆ 1075	白金(グラム)	◆ 4206		4C×2 164-168
鍛造用	◆ 1050	◆ 1055	パラジウム(グラム)	◎ 8811		6C×2 234-239
ネーパル	◆ 1150	◆ 1155	金(グラム)	◎ 7472		7C×2 267-274
高力	◆ 1150	◆ 1155	銀(キログラム)	◆ 99660		合金鉄 11月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	◆ 1400	◆ 1370	レアメタル輸入価格	11月通関 (CIF)		フェロマンガン2%以上炭素含有 195
黄銅平角線ロール仕上	◆ 1600	◆ 1580	金属ケイ素(99.99%未満)	907		〃 その他 -
黄銅条1.5×100	◆ 1195	◆ 1180	モリブデン酸化物	3174		フェロシリコン55%以上 286
リン青銅板一般用1.0ミリ	2610	2770	タンタル	41311		フェロクロム4%以上炭素含有 191.5
〃 バネ用0.3ミリ	2870	3030	マグネシウム	456		フェロモリブデン純分60%以上 3194
リン青銅棒25ミリ	2710	2890	コバルト	6437		フェロバナジウム 2816
リン青銅線3ミリ	3040	3210	インジウム	26891		フェロニッケル33%未満 504.2
洋白板一般用1.0ミリ	3400	3440				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3520	3560				

減 摩 合 金	1月17日改定	銅 合 金 地 金	1月6日発表
500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5520	BC 1種	1180
2種	5340	2種	1520
3種	5155	3種	1615
4種	4510	6種	1290
5種	4345	7種	1405
7種	1400	YBSC 3種	1040
8種	1180	LBC 3種	1555
9種	1020	PBC 2種	1645



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(1月25日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		40,000 ~ 43,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1号銅線	◆1040	◆1035	電 気 銅	◆1129	◆1124	◆1131	◆1126	山元建値	電気銅	1170(25)	金	6,773(25)
2号銅線	◆988	—	電 気 亜 鉛	457	451	457	451	() 実施日	電気鉛	333(14)	銀	88,760(25)
上銅(新切)	◆1017	◆1000	蒸 留 亜 鉛	445	439	445	439		電気亜鉛	475(21)	錫(99.99%)	6,400(21)
雑ナゲット	◆861	◆866	再生ダイカスト亜鉛2種	376	370	376	370					
並銅	◆938	◆933	再生亜鉛(98%)	329	323	329	323					
下銅	◆916	◆906	電 気 鉛	319	314	319	314					
銅削粉	◆918	◆909	再 生 鉛 1 号	295	286	296	291					
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	300	295	301	297					
新切黄銅セバ	◆791	◆793	錫 1 号	5250	5200	5250	5200					
コーベル	◆756	◆751	ア ン チ モ ン	1700	1650	1700	1650					
黄銅棒地	◆738	◆739	ニッケル(メッキ用)	2750	2700	2750	2700					
黄銅削粉	◆732	◆735	コ バ ル ト	9500	9200	9500	9200					
並黄銅	◆662	◆647	セ レ ニ ウ ム	3300	3100	3300	3100					
黄銅ラジエター	◆591	◆571	ビ ス マ ス	1250	1150	1250	1150					
交叉ラジエター	◆613	◆606	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450					
黄銅鑄物	◆669	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	600	580	600	580					
山送り(55%)	380	—	アルミ地金99.70%	◆391	◆387	◆393	◆389					
上青銅鑄物	◆808	—	アルミ二次地金99%	307	302	307	302					
並青銅鑄物	◆806	◆804	〃 90%	276	271	276	271					
上青銅鑄物削粉	◆801	—	アルミ二次合金ADC12	456	451	459	454					
並青銅鑄物削粉	◆791	◆792	鑄 物 用 C2BS	481	476	483	478					
新切リン青銅(伸銅)	—	◆1056	青銅合金地金3種	◆1545	◆1535	1510	1500					
〃 (鑄物)	◆924	—	〃 6種	◆1230	◆1220	1210	1200					
リン青銅削粉	◆837	◆836	ハ ン ダ 錫 60 %	3720	3680	3740	3710					
新切洋白(電子材)	◆855	◆849	〃 50 %	3200	3150	3220	3190					
新切亜鉛	177	177	〃 40 %	2745	2685	2700	2670					
ダイカストくず	142	142	減 摩 合 金 2 種	5330	5300	5335	5305					
亜鉛ドロス	120	131	〃 4 種	4480	4455	4485	4455					
上鉛	110	108	〃 7 種	1355	1305	1355	1305					
電池素鉛ケース込	20	20	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		125	125					
活字鉛	95	92		〃 ダライ粉		110	110					
新切アルミ1級	220	229		高耐食ステンレスSUS316		220	220					
新切サッシ1級	220	225		耐熱ステンレスSUS310		265	265					
新切合金1級	210	220		13クローム 新切		28	26					
機械鑄物1級	137	135		ハイス 9種		200	200					
ビス付サッシP	156	155										
合金削粉P	100	100										
込ガラP	95	91										
カン・バラ	137	133										



非鉄金属材料相場面
PW:KINZOKU2201